あっといーずホーム

（別紙）　　作成日　平成 28年　3月 22日

1　自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2071800235		
法人名	有限会社アットイーズ		
事業所名	あっといーずホーム		
所在地	長野県千曲市磯部170-2		
自己評価作成日	平成 28年　2月　7日	評価結果市町村受理日	平成 28年　4月　8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=2071800235-00&PrefCd=20&VersionCd=022

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	コスモプランニング有限会社
所在地	長野市松岡1丁目35番5号
訪問調査日	平成 28年　3月　3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

接遇は勿論のこと、ご家族、主治医を中心とした連携の徹底をしています。日々の体調変化に気づけるよう、こまめにバイタル測定、水分量、排泄のチェックを行い、変化が見られた場合主治医に連絡をして、ご家族の了承のもと専門医に受診をしています。
行事も毎月季節に合わせた行事を取り入れ、お花見やお食事に出かける事も利用者様には好評となっております。行事の際の表情や雰囲気を写真に撮り、コメントと共にご家族に毎月送っています。
一昨年より始まりました、ふれあい祭りは地域の方にも施設にお越しいただけるよう、チラシや回覧板を活用して地域の方向けの行事も行っております。昨年は小さなお子さんも来ていただき、民生委員の方や区長さんより恒例行事として続けていただきたいと評価を頂きました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

千曲川のほとり、戸倉温泉の近くの国道18号線から少し東に入った静かな住宅地に当ホームがある。「家庭的な雰囲気で家族のような気持ちになって利用者の暮らしを支援する」という方針が職員に浸透しており、利用者一人ひとりを尊重し、常に思いを把握しようと意識しチームケアに当っている。利用者の気持ちに寄り添い、どうすれば思いを実現できるかを職員間で話し合いながら、利用者の笑顔や「ありがとう」の言葉にやりがいを感じ、いつも笑顔で優しくをモットーに日々ケアしている。看取りについては「自然な老いの状態」と捉え「どんな状況でもご家族にとって後悔の少ない方法でお別れできるよう、出来る限り支援する」と家族にも伝え最期まで寄り添い支援している。地域とのつながりも大切にしており、ホーム主催のふれあい祭りや防災訓練などに近所の方が参加したり、民生委員の依頼から高齢者サロンで認知症の講座を行なう等、利用者と地域のために何が出来るかと問題意識をもって取り組んでいる。訪問調査当日の穏やかな昼食の様子が印象的で、代表者がホーム名あっと（気楽な）いーず（くつろいだ=癒し）に込めた思いが感じられた。

Ⅴ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

	項　目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19）		1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20）		1. ほぼ毎日のように
		○	2. 数日に1回程度
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4）	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
		○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない